

ナチシダ

Pteris wallichiana J.Agardh
イノモトソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内での生育地は6箇所であるが、以前は1箇所のみであった。近年になって、分布が拡大しつつある。若狭地方にシカが多くなって、林床の多くの植物が食べつくされ、林床は大きく変化してしまった。ナチシダは食べられずに分布を拡大している。

種の特徴

常緑性の大型の草本で、寒い所では枯れることもある。葉柄は約1mに達し暗紫色で光沢がある。太さは親指大になる。葉身は1m近くになり、基部で3岐し、全体として五角形状になる。小羽片の縁に孢子囊群をつける。

分布

全国分布は本州～九州。県内分布はおおい町、小浜市。

生育を脅かす要因

シカが増えて、林床の植物のほとんどが食害をうけているが、ナチシダは食べられないために生息地を拡大している。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1979)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												

オクヤマワラビ

Athyrium alpestre (Hoppe) Clairv.
イワデングダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

夏緑性のシダ類。亜高山に生育し、県内では奥越のみである。産地局限、採取圧の恐れがある。絶滅危惧Ⅱ類とした。

種の特徴

根茎は太く、葉は高さ60cm前後になり、葉身は3回羽状、長楕円形で最下は短くなる。孢子嚢は円形をしている。胞膜は小さい。亜高山の草原や岩場に生育している。ややまれである。

分布

全国分布は北海道、本州（中部地方以北）。県内生育地は西限にあたる、奥越の亜高山帯に生育。

生育を脅かす要因

開発、産地局限、踏みつけ。

参考文献 岩槻邦男編 (1992)、中池敏之 (1992)、渡辺定路 (2003)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ヒロハヤブソテツ

Cyrtomium macrophyllum (Makino) Tagawa
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内での生育地は約20箇所、一般に石灰岩の分布域に生育している。森林伐採や土地開発によって減少。

種の特徴

山地のやや湿った土地に生育する。葉部は約20cm前後で、葉身は単羽状複葉で、基部は広卵形、先端に少し鋸歯がある。孢子囊群は羽片の裏に散在する。包膜は灰白色。

分布

全国分布は本州～九州。県内分布は大野市、勝山市、福井市、池田町、小浜市、若狭町、おおい町。

生育を脅かす要因

土地開発、森林伐採。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1979)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○				○						○	○	○